

地域別構想 第七地域（西谷）

地域コンセプト：人に優しく、豊かな自然にはぐくまれたまちづくり

地域づくりの目標

- 本市の北部に位置し、山々に囲まれた盆地に営農地と集落地が広がる自然豊かな地域。
- 全域が都市計画区域の市街化調整区域。
- 集落は基本的に農業振興地域に位置付け。
- 北部地域と南部地域を分ける長尾山系は、六甲山系とともに本市の風景の基盤となっている。

<地域づくりの方向>

(ア) 豊かな自然・四季とふれあえるまち

- 緑豊かな自然環境を保全・育成するとともに、身近にふれあえる緑地として整備するなど、豊かな自然と共生した地域づくりをめざします。

(イ) 農業と交流を育てるまち

- 無秩序な開発を抑制し自然環境を積極的に保全するとともに、地域の田園・自然環境を活かした交流型の地域づくりをめざします。

(ウ) 自然と共生するまち

- 県の動向を注視しつつ、広大な公有地での里山の保全・再生・活用等について検討を行い、豊かな自然を活かした交流ができる地域づくりをめざします。

地域の土地利用の方針

(ア) 自然緑地区域

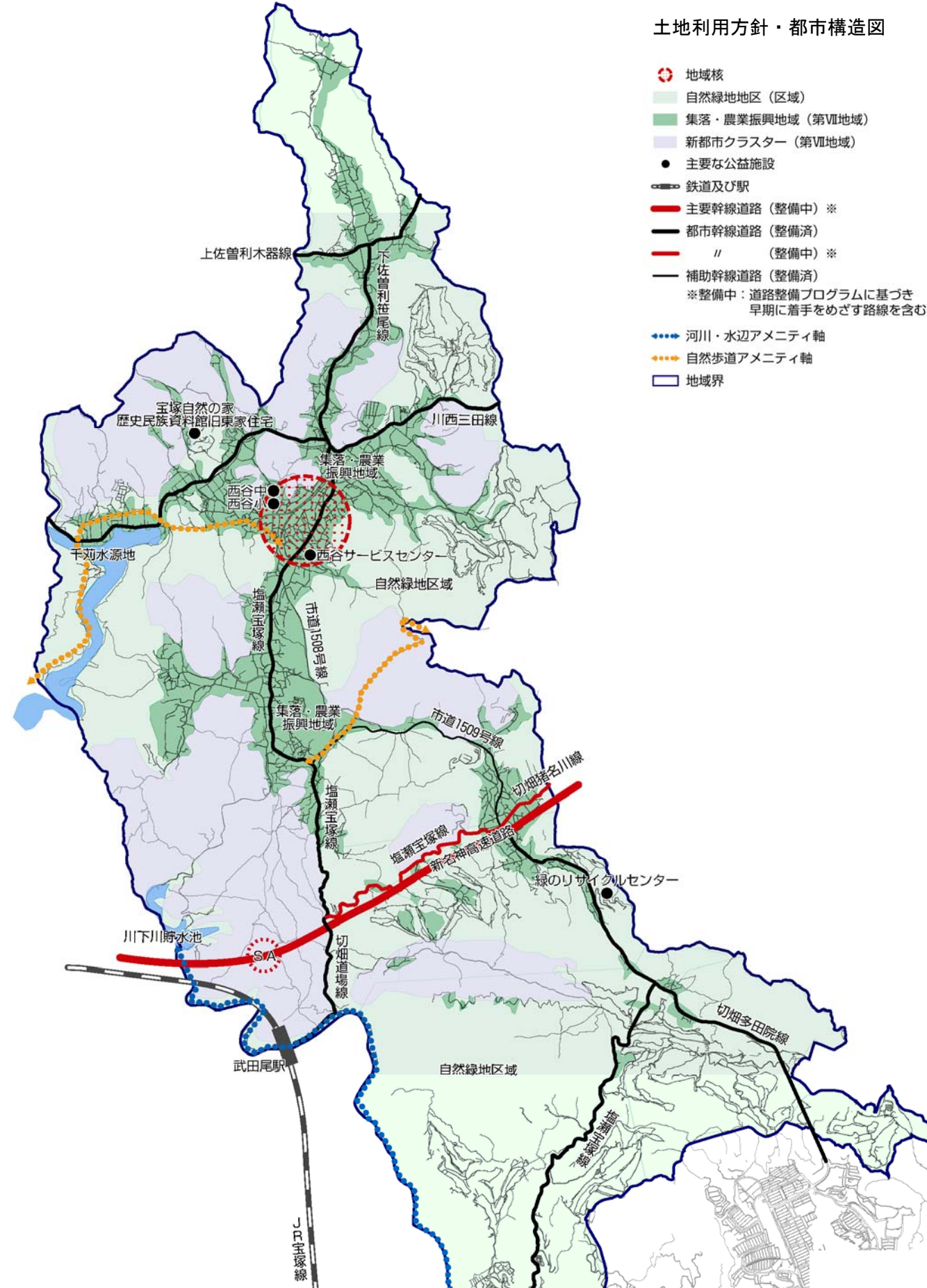
- 自然とのふれあいや観光の視点から、緑地保全地区などを活用した自然環境の保全と活用を図るとともに、里山の保全・再生・活用に向けた市民活動などを支援

(イ) 集落・農業振興地域

- 農業振興計画に基づく農業基盤の整備と交流型の農業振興の促進
- 集落周辺の里山と一体となった良好な田園環境の保全と再生
- 地域の生活、生産、経済基盤の向上に寄与する都市基盤施設などの整備
- 大原野周辺地区における日常の生活利便施設や行政サービス機能などの充実
- 市街化調整区域の建築制限を緩和する都市計画制度や開発許可制度の活用について検討
- 地区計画の導入の検討
- 体験農業など新たな農地活用施策の促進の検討
- 武田尾地区での河川改修事業にあわせた災害に強い集落の形成と、土地利用の適切な誘導
- 県による玉瀬地区土地改良事業の早期事業化

(ウ) 宝塚新都市計画区域

- 里山の保全・再生・活用に向けた市民活動を支援
- 自然休養村などの適正な管理と運営



地域を支える都市拠点とネットワーク

①都市拠点の整備・充実

- 地域核：大原野周辺地区
- 北部ゲートゾーン：JR武田尾駅周辺、新名神高速道路で整備されるスマートインターチェンジ周辺
・北部地域の魅力の発信拠点

②交通ネットワーク

(ア) 道路

- 新名神高速道路
整備の促進とともに、スマートインターチェンジの設置を促進。また、周辺道路についても県とともに整備を促進
- 都市幹線道路
主要地方道塩瀬宝塚線
- 補助幹線道路
主要地方道川西三田線、切畑道場線、切畑猪名川線、市道1508号線、市道1509号線、長尾山トコ道路など

(イ) バス

- 宝塚市地域公共交通総合連携計画の推進
- 武田尾駅：シェルター（バス停の上屋）の設置
駅舎のバリアフリー化とともに北部地域の主要な玄関口としての機能の充実とアクセスの強化を推進

③水と緑のネットワーク

(ア) 水と緑の拠点

- 水と緑の拠点 千苧水源地や川下川貯水池
・水質保全と親水空間の整備の推進
- 桜の園：市民と協働による適切な維持管理
- 自然緑地区域：生態系の維持や水源の涵養の視点から保全・再生・整備を推進
- 丸山湿原：国や県に保全を働きかけ、市民活動の支援
- 採石場跡地：緑地のより適切な保全や育成などについて関係権利者と調整

(イ) 水と緑のアメニティ軸

- 河川・水辺アメニティ軸：武庫川左岸
・親水空間や自然観察の場の確保など、アメニティの充実と自然環境の保全
- 自然文化アメニティ軸：
・近畿自然歩道、JR廃線敷を利用したハイキングコースなど沿道の状況に応じて安全で快適な道づくりを推進